

いざなぎじんぐう めおと 伊弉諾神宮と夫婦クス

所在地：淡路市 多賀



伊弉諾神宮 鳥居と参道



本殿



夫婦クス

国生みの大業を果たされた伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）の二柱をお祀りする神社。古事記・日本書紀の神代巻に創祀の記載がある最古の神社で、淡路国一宮として古代から全国の掌敬を集めています。

古事記・日本書紀には、国生みに始まるすべての神功を果たされた二神が、最初にお生みになられた淡路島の多賀の地に、「幽宮」を構えて余生を過ごされたと記されています。その場所に最古の神社として創始されたのが、伊弉諾神宮の起源と伝えられています。

境内には、伊弉諾尊（イザナギノミコト）、伊弉冉尊（イザナミノミコト）の二神が宿る御神木として、夫婦円満、安産子授、縁結びなどの御利益があると信仰されている樹齢約900年の夫婦クスがあります。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道88号線を北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図